

令和2年度広島県立呉特別支援学校センターだより



カメラア Camellia

第8号

令和2年9月9日発行

—カメラアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

衝動性、多動性、反抗的、挑戦的、慢性的な怒り、攻撃行動など…問題行動は似ていますが、愛着の問題と発達の問題とでは支援の方法が異なります。

そのため、愛着の問題か、発達の問題か、その両方か—子どもの行動の背景因子をしっかりと見極め、適切な支援をすることが大切です。

愛着と発達の二つの視点



杉山登志郎(2007年)は、虐待を受けた子どもは、安心を与えてくれるはずの養育者から被害を受けるので反応性愛着障害を引き起こし、重大な対人関係の問題だけでなく、衝動や怒りのコントロールの障害を来すと述べています。

米澤好史(2005年)は、子ども自身に発達障害がある場合、育て方、関わり方そのものにそれほど問題がなくても、養育者と子どもとのニーズのずれや与えるタイミングのずれにより愛着の問題が起こる可能性が非常に高まると指摘しています。

宮内英里子(2019年)は、発達の支援を行ってもうまくいかなかったり、これまでの指導が通らず対応の手詰まり感を生じさせたりしていることについて、“愛着の問題と発達の問題の混同”による“対応のミスマッチ”と述べています。また、この二つの混同は「保護者が協力的でない。」「学校の問題を保護者に押し付ける。」など、学校と保護者にも様々な影響を与えていると述べています。

愛着障害と発達障害の鑑別が難しいことを踏まえ、山崎茜(2019年)は、生育歴における著しい虐待の有無や、そうした行動が見られる関係性や場、時間帯等にムラがあるかどうかなどをポイントとしてアセスメントする必要があるとしています。愛着に課題のある子どもを支援する場合に、その行動様式にだけ目を向けていると診断を誤ってしまうことがあるので、子どもの実態の観察や情報収集が重要であると述べています。

「落ち着きがない。」「授業に集中できない。」「人の気持ちを考えて行動することができない。」など、子どもの行動のみが注目されると、発達の問題で捉えてしまいがちです。

生育歴や様々な場面での行動観察、個別の教育支援計画等の書類から得る情報など、多面的に情報収集し、総合的に判断し、子どもの行動の背景を正しく捉えることで、適切な支援につなげることができるのではないかと考えます。



齋藤良直(2019年)は、トラブルへの対応に目が向きやすいところではあるが、普段の地道な関わりの積み重ねを忘れてはならないと述べています。

そして、普段の関係づくりのポイント(個別対応の時間が確保できる場合の例)を次のように示しています。

普段の関係づくりのポイント

1 興味・関心等の共通因子を探る

2 子どもがのりそうな選択肢を用意する

○教科的内容にこだわらない。

○トラブル対応がスムーズにできる関係になったところで、

子どもの発達特性・認知特性と踏まえた教材の提供も試みる。

○学習負荷に対応できるようになったところで、友だちやみんなの中での取組を試みていく。

3 本人・周囲ともに、説明のつく、もっともらしい別の意味付けを工夫する

例:A先生との学習→コミュニケーション学習

4 事前に計画して提示した時間割(授業枠)で取り組む

○普段みんなと一緒に教室で取り組みにくい授業について、意図的に個別学習にあてる。

5 選択肢を複数提示する

○教師の都合で取り組んでほしい内容は抵抗感が大きいので、子どもの好きな活動の間に挟みこむなど順番を工夫して提示する。

6 取り組んでいる中での工夫

○やり取りしながら、コミュニケーションの癖(受け止め方、嫌がる伝え方、伝わりやすい伝え方)等を観察する。

○関係づくりが進んできたところで、さりげなく課題(不適切行動の修正)にかかわって、子どもが受け入れやすいタイミングや伝え方を演出しながら、言葉掛けをしていく。

7 振り返りを位置付ける

○行動・感情・関係性の要素に分けて、繋げる。

例:「○○したから落ち着いたね。□□先生と一緒に落ち着いたね。」

○「どうだった?」ではなく「こうだよね」と言い当てる。

普段から子どもを「けしからんヤツ」と見ていると、口調や雰囲気から、上から目線・押しつけ感が表れてしまい、子どもから見抜かれ、距離を置かれてしまう。普段の子どもの見方が問われる。



参考 米澤好史(2019年):『シリーズ 支援のための発達心理学 愛着関係の発達の理論と支援』金子書房



広島県立呉特別支援学校

担当者:専任教育相談主任(特別支援教育コーディネーター) 平川 真衣

住所:呉市焼山北三丁目 22-1

TEL:(0823) 33-0300 FAX:(0823) 33-0308

